

令和6年度 日本認知症官民協議会総会

## 企業・自治体等による実践的取組紹介

# 公益社団法人『日本図書館協会』の取り組み



日本図書館協会 認知症バリアフリー図書館特別検討チーム

委員長 舟田 彰 1

# 認知症バリアフリー社会実現のために

## 誰もが日常生活に身近に利用できる「図書館」

- ・地域社会の中で誰にも開かれ、地域の人々が日常的に利用する施設として設置。
- ・図書館を自分の居場所的に活用している高齢者が相当数存在していると思われる。
- ・認知機能が低下してきても継続して利用できるような配慮を行い、誰もが引き続き利用できるようにしたい。

## さまざまな実践事例が全国各地で広がりつつある

2015年 宮崎県日向市や川崎市宮前区の図書館に認知症に特化したコーナー設置

2019年11月 日本図書館協会内に「認知症バリアフリー図書館特別検討チーム」を設置

この10年の間に全国の図書館が地域性を捉えた様々な取り組みが広がりが見えてきた。

## 認知症バリアフリー取組事例

### 2024年度 の取組事例

### 2024年度認知症の日・認知症月間の図書館の取組事例

※掲載順序は、「日本の図書館 統計と名簿 2023」に準じています。

★各図書館が取り組んだサービスを一覧表にしました★

[2024年度 世界アルツハイマー月間における取組み一覧表](#)

#### 北海道

[紋別市立図書館](#)

#### 茨城県

[茨城県立図書館](#)

#### 栃木県

[佐野市立・田沼・葛生図書館](#)

#### 群馬県

[みどり市立笠懸図書館](#)

#### 埼玉県

[埼玉県立久喜図書館](#)、[狭山市立中央図書館](#)、[宮代町立図書館](#)

#### 千葉県

[千葉県立西部・東部図書館](#)

#### 東京都

[新宿区立下落合図書館](#)、[目黒区立大橋図書館](#)、[八王子市中央図書館](#)・[南大沢図書館](#)・[生涯学習センター図書館](#)

# 認知症バリアフリーに向けた社会の実現・・・図書館の取り組み

## 1 なじみの居場所としての図書館

認知症の人が「自分の居場所」と思ってもらえる図書館をめざす

…認知症サポーター養成講座を受講し、認知症に関する正しい理解した上で、誰でもが利用しやすい図書館サービスを推進する

## 2 本などに触れる喜びを味わえる図書館

利用者の幅広い興味・関心に応じられる図書館をめざす

…利用者の興味関心の幅広いニーズに応えるため、本だけではなく可能な範囲でCDなども提供できるようにする。昔懐かしい写真集なども利用してもらいたい

## 3 認知症について知り、学べる図書館

認知症になってからの暮らし方についてより良い情報の収集と提供をめざす

…本は専門家が書いたもののみでなく、本人や家族が書いた本も収集・提供。ネガティブな内容に偏りがなく、不安が和らぐような内容の本も提供できるように留意。できるだけ探すことをなくすため、コーナー作りなどの工夫も行う。

## 4 わかりやすい図書館

誰もがわかりやすく、使いやすい図書館をめざす

…館内の本棚の番号と本に貼ってある番号をわかり易くする。

館内案内図やサインの大きさなどが見えづらいので利用者目線で見直しを行う。

## 5 地域とつなぐ図書館

さまざまなシニア向けサロンや認知症カフェ・講演会等の医師や看護師、社会福祉士などの専門職がいる機関と協力して、図書館が開催することや、会場の提供をすることも一案である。また専門機関の情報を図書館経由で提供・発信していくことなどを検討する。

…他部署や地域包括支援センター等の機会と連携を図ることで、図書館ができることが広がる。既存の取り組みにとどまることなく、地域に身近な図書館だから去年でできることを考え、実践していきたい。司書がいることによって、認知症に限らず、様々な情報を提供する。

## 最近の取り組み

### ・「手引き（図書館編）」の活用

テキストの有効活用の事例

#### →研修会開催

相模原市・小金井市・葛飾区・京都府から研修開催の依頼があり、テキストを活用・紹介した研修会実施。

テキストを参加者が持参した座学及び意見交換により、認知症への理解を深めることができた。

#### →テキスト解説動画の配信

テキスト解説動画を作成し、テキスト内容の理解を深めるために作成し、図書館協会HPでアップ。

### ・「図書館の取り組み好事例」集約・事例報告会

好事例を図書館界及び行政機関も含め広く社会へ周知する

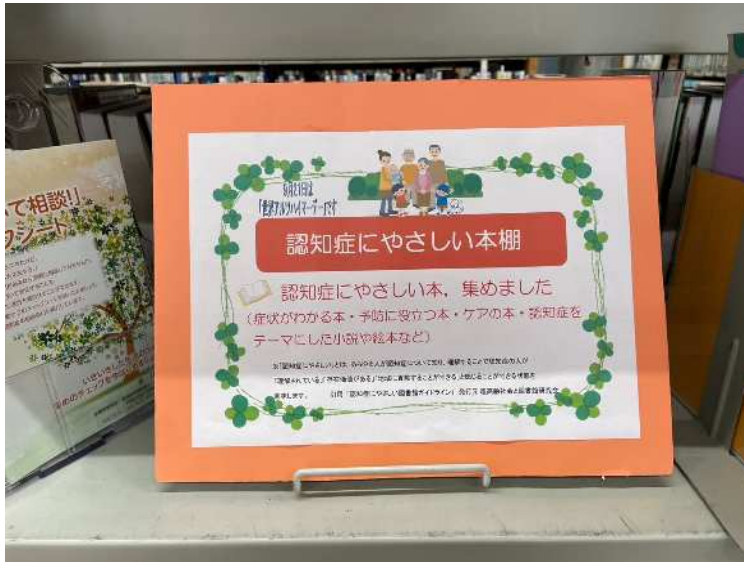
→認知症のご本人と図書館内を練り歩き、利用者の視点で図書館の利便性を改善する取り組みの事例報告会実施（八王子市・大阪府など）

### ・毎年9月「アルツハイマー月間」全国の図書館状況の集約

認知症理解や啓発に向けた、全国の図書館での取り組みを周知・事例集約し、図書館協会ホームページへのアップ

→図書館単体だけではなく、医療や福祉の専門機関との連携が盛んである。高齢者のサロンやコーナーを拡充、講演会、専門職育成大学生との連携、展示コーナーやパネルを掲示する図書館が増えている。市民に敷居の低い、誰もが来館できる図書館のメリットを理解した専門機関と共に行う館も多くなっている。

# 常設コーナー事例として



京都市立岩倉図書館



川崎市立宮前図書館

# ホームページをご覧ください

活動詳細は



認知症バリアフリー 日本図書館協会

検索

The screenshot shows the JLA website with a navigation menu and a main content area. The main content area is titled "認知症バリアフリー図書館特別検討チーム" (Dementia Barrier-Free Library Special Discussion Team). It includes a sub-header "別検討チーム" (Special Discussion Team) and a list of items: "認知症バリアフリー図書館特別検討チーム" and "認知症への取組事例" (Cases of Dementia Response). Below this, there is a section for "2024年度の活動" (Activities for 2024) and a sub-section for "JLA認知症バリアフリーオンライン講座 第2回" (JLA Dementia Barrier-Free Online Lecture 2nd Session). The text describes the 2nd session, which was held on November 20, 2023, at the Hachioji City Central Library. It mentions the video is available on YouTube and lists three topics: 1. Introduction of the "Let's use any library project" initiative, 2. "All voices are heard" - a discussion on the importance of the user's perspective, and 3. The project's organizational structure.

## 【動画】

\* 『認知症バリアフリー社会実現のための手引き（図書館編）』のねらいと活用への期待

\* 認知症図書館バリアフリー研修会（2023.11.20）

八王子市図書館における「だれもがいつまでも利用しやすい図書館プロジェクト」の取組